



よきかな若人

～飯綱山こそわれらが希望～

飯綱中学校相談メール iichu-soudan@edu.town.iizuna.nagano.jp

うれしいお手紙

飯綱町役場に届いたお手紙ですが、皆さんのことが書かれているので、紹介させていただきます。

いつもお仕事お疲れ様です。

私は近くに住む者で、昨年11月より飯綱町に移住してきました。

新しい所は何かと不安でしたが、役場職員の方の温かい笑顔と親切な対応に、ほっとしたことが思い出されます。今日は、日頃の感謝と難しい状況で頑張ってくださっている皆様にお礼を伝えたく、筆を執った次第です。

昨今の新型コロナウイルスの影響で、皆様におかれましては、細心の注意を払いながら働いておられることと存じます。役場の仕事は全てリモートとはいかず、また、私たちの生活の場としても、休業にできない職種です。その中で、リスクを負いながらお仕事をなさっている方々は、本当に立派だと感じます。

(中略)

そして、学生さんの大きな声でのあいさつにも励まされ、心がなごみます。

「なんていい町なんだろう。」と。

私の大切にしている言葉に、「心配ごとがあると心は沈む。しかし、良い言葉によって心が晴れる。」というものがあります。言葉には力があるという格言です。まさにこの町の人に元気をもらっています。ありがとうございます。

まだまだ自粛が続きますが、町長さんはじめ、職員の皆様、どうぞ、ご自身のお身体を大切に、お気を付けてお仕事されてください。

(後略)

3学年総合的な学習「私のふるさと飯綱町～15歳の提言～」

3学年の総合的な学習の時間では、「私のふるさと飯綱町」をテーマに、自分たちが町の一員として飯綱町について「こう思い、こう考え、こうしていきたい」ということを「中学生議会」で発信してまいります。生徒自身が飯綱町のことを自分のこととして捉え、今後のよりよい町のあり方を考える学習を目指しております。学習に先立ち、19日(金)に、信州大学小山茂喜教授を招き、ご講演

をいただきました。講演の中で小山教授は、「(飯綱町について)自分はまだまだ知らないことが多いということに気が付き、その上で町のことを調べ、自分にとって生活しやすい空間を創り出すために、自分は何をすればよいのか、みんなでどんなことを協力していけばよいのかを考えていこう。」と話されました。

今後学習を深め、10月に町への提言を発表します。



信州大学 小山 茂喜 教授

《生徒の学習カードから》

小山先生のお話を聞く前は、「何でこんなことやるの?」と思っていましたが、「自分の町を良くしたいのならば、自分で動こう」ということを聞いて、僕たちの手で飯綱町のことを考えていきたいと思いました。飯綱町は人が少ないし、少子高齢化が進んでいるので、このことを中心に飯綱町のことを考えていきたいと思います。

【お知らせ】

今週6月22日(月)～26日(金)は授業参観週間となっています。終日学校を開放いたしますので、お時間のある時はいつでも授業をご参観ください。昨日は、6名の保護者様にご来校いただきました。

感染防止と防犯上、来校の際は、事務室前で来校者名簿に○印をお付けください。また、事務室前のアルコール消毒をお使いください。

(文責 勝山)